

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 関東甲信越ブロック
第 13 回 ソーシャルワーク教育推進大会 開催要項

大会テーマ

「新たな時代のソーシャルワーカー養成のあり方」

2017年12月に「地域共生社会の実現に向けた福祉推進について」が発出された。新たな福祉における推進の方向性が示されたといえるが、このような流れの中、ソーシャルワーカーに求められる役割はどのようなものであろうか。今大会では、この新たな時代におけるソーシャルワーカーのあり方について考えていきたい。おりしも、今大会は、日本社会福祉教育学校連盟、日本社会福祉士養成校協会、日本精神保健福祉士養成校協会が統合され、「日本ソーシャルワーク教育学校連盟」が発足して初めての大会となる。社会福祉士と精神保健福祉士は同じソーシャルワーカーでありながら、とかく両者の相違がクローズアップされやすいが、福祉実践現場においては両者の協働を促進することが求められている。社会福祉士と精神保健福祉士、それぞれの養成教育に関わる養成校教員や実習指導者、社会福祉施設・機関の支援者がともに協議し、実践活動に活かしていく上での課題について示唆を得る機会としたい。

ソーシャルワーク教育に関わる養成校教員や実習指導者などの皆様、および高校教員や現場で働いている皆様、また関心をお持ちの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《大会の趣旨及び沿革》

本大会は、日本社会事業学校連盟(現:日本ソーシャルワーク教育学校連盟)が、社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)を踏まえて行なった「社会福祉援助技術現場実習マニュアル(案)」の策定等を契機として、実習教育の一層の充実のために実習施設・機関と養成校とが、配属実習に関する諸条件、実習のあり方等について研究・協議をするための場として1988(昭和63)年度からブロック別に開催することとした「社会福祉援助技術現場実習研究協議会」に始まるものです。そして、実習前後の教育、指導体制、実習内容、評価等のあり方について議論が重ねられてきました。

2001(平成13)年に日本社会福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟が発足してからは両団体の関東甲信越ブロックの事業に移行、2005(平成17)年度には名称を「社会福祉士実習教育推進大会」とし、社会福祉士実習に焦点化した大会として運営されてきました。その後、2014年度(第10回)大会からは、名称を「社会福祉士育成推進大会」に変え、福祉人材の育成・確保、任用拡大等も含めた協議の場といたしました。

今大会からは、日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟の三団体が合併したのに伴い、名称を「ソーシャルワーク教育推進大会」とし、社会福祉士・精神保健福祉士を含めたソーシャルワーク教育について、関係者が協議し、より一層の発展につなげていく場としてまいります。

1. 日 時 2018(平成30)年3月11日(日) 10:00～15:30 (受付9:30開始)

2. 会 場 ルーテル学院大学
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20

3. 参加予定者

日本ソーシャルワーク教育学校連盟加盟校教職員、社会福祉施設・機関職員
高等学校教職員、学生・大学院生、そのほかソーシャルワーク教育に関心のある方

4. 開催主管支部 東京都支部

5. 主催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 関東甲信越ブロック

6. 後援 公益社団法人 東京社会福祉士会 (予定) 公益社団法人 東京精神保健福祉士協会(予定)

7. 参加費 1,000 円 (学生・大学院生無料)

8. お問い合わせ先

東京学芸大学総合教育科学系 馬場幸子

電話番号：042-329-7431 (研究室直通)

E-mail：sbamba@u-gakugei.ac.jp

ルーテル学院大学総合人間学部 浅野貴博

電話番号：0422-31-7920 (コミュニティ人材養成センター)

E-mail：fukushi@luther.ac.jp

9. 参加申し込み方法

別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、2月28日(水)までに **Fax** もしくは **E-mail** にてお申し込みください。E-mail の場合は、件名を「SW教育推進大会申込」として、①氏名、②氏名ふりがな、③所属先名、④職種、⑤連絡先住所、⑥電話番号、⑦e-mail アドレス、⑧参加希望分科会をご記入の上、ご送信ください。

【申し込み先】

上智大学総合人間科学部 高山恵理子研究室

Fax：03-3238-4376 E-mail：t-eriko@sophia.ac.jp

10. 交通アクセス

「東京」からJR中央線「武蔵境」まで約35分、武蔵境駅南口からバスで約8分、停留所「西野」下車、徒歩約3分。会場周辺地図等、詳しくはルーテル学院大学のホームページをご参照ください (<http://www.luther.ac.jp/access/>)。

<バス乗車のご案内>

いずれも停留所「西野」にて下車してください。

・JR中央線・武蔵境駅南口から乗車、約8分

2番のりば：「国際基督教大学行」(境93)

3番のりば：「狛江駅北口行」(境91)

4番のりば：「吉祥寺駅行」(吉01)

・JR中央線・三鷹駅南口から乗車、約15分

5番のりば：「国際基督教大学行」他(鷹51)

- ・京王線・調布駅北口から乗車、約20分
調布駅北口11番のりば：「武蔵境駅行」（境91）「三鷹駅行」（鷹51）
- ・小田急線・狛江駅北口から乗車、約40分
狛江駅北口2番のりば：「武蔵境駅行」（境91）

11. タイムテーブル・プログラム

時間	内 容
9:30	受付 ルーテル学院大学 トリニティホール1Fロビー
10:00 ～ 12:00	<p>基調講演</p> <p>「これからソーシャルワーカーに求められる役割と養成のあり方（仮）」</p> <p>【講 師】 添田正揮（厚生労働省社会・援護局社会福祉専門官）</p> <p>【趣 旨】</p> <p>「ニッポン一億総活躍プラン」「経済財政運営と改革の基本方針 2016 について」（いずれも平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）は、「子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる『地域共生社会』を実現する」としている。これを受け、厚生労働省は、『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部会議を設置した。その第 1 回（平成 28 年 7 月 15 日）資料によれば、「市町村においては、地域づくりの取組の支援と、公的な福祉サービスへのつながりを含めた『丸ごと』の総合相談支援の体制整備を進めていく必要がある。また、対象者ごとに整備された『縦割り』の公的福祉サービスも『丸ごと』へと転換していくため、サービスや専門人材の養成課程の改革を進めていく必要がある」とされている。このような中で、これからソーシャルワーカーに求められる役割と養成のあり方について考えたい。</p> <p>【コーディネーター】 船水 浩行(東海大学)</p>
12:00	<p>昼食・休憩</p> <p>(ルーテル学院大学の食堂は営業していませんので、昼食は各自でご用意ください)</p>
13:00 ～ 15:30	<p>第 1 分科会 実習を通じた自己覚知</p> <p>【趣 旨】</p> <p>社会福祉士、精神保健福祉士になるために課せられた実習は、単なる職場体験ではない。ソーシャルワーカーとしての能力を養う場である。ソーシャルワーカーとしての重要な能力の一つが、自らを理解し、それを、時に制御しつつ、効果的に利用者支援に活かすことができる力である。ゆえに、ソーシャルワーク実習では、学生の自己覚知を強く促す指導も必要とされる。福祉実践現場に入り、ワーカーの動きを観察し、利用者とかかわる中で、自らの思考・行動の傾向やその背景にある価値観などを認識し、言語化する訓練の場となることが求められる。</p> <p>本分科会では、実習指導者がどのように実習生の自己覚知を促したか、また、学生がどのように自己覚知を深めていったのかについて報告してもらおう。そのうえで、分科会参加者らと課題意識を共有、参加者各々が今後の実習指導へのヒントを得られることを目指す。</p>

【報告者】

- 報告者1 酒井 りさ子 (実習生 新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科
ソーシャルワークコース4年)
報告者2 海老田大五朗 (実習指導教員 新潟青陵大学 准教授)
報告者3 栗木 美代子 (実習指導者・国分寺市スクールソーシャルワーカー・
精神保健福祉士/社会福祉士)
報告者4 真下 恵子 (実習指導者・母子生活支援施設「さくら荘」・社会福祉士)

【コーディネーター】 馬場幸子 (東京学芸大学)

第2分科会 実践と研究

【趣 旨】

実践と研究の循環の必要性が指摘されながら、福祉現場の支援者が“研究”に関わり、その成果を自らの実践に活用するというはまだまだ少ないのが現状であろう。研究に関心を持つ支援者は潜在的に一定数いると考えるが、現実的には様々な理由(日々の仕事の忙しさ、経済的、家庭の事情等)で、研究に関わる場としての大学院への進学までは至らないケースが多いのではないだろうか。

本分科会では、大学院(修士・博士)を修了した、または在籍中の現任のソーシャルワーカーによる報告を通して、ソーシャルワーカーにとって研究する意味とは?福祉現場で直面する様々な課題に対して、研究という形を通していかに取り組むことができるか?...等について、分科会参加者と共に考える機会にしたい。

【報告者】

- 報告者1 柏木 忠祐 (ルーテル学院大学大学院 博士前期課程在籍・社会福祉士)
報告者2 長瀬 彩子 (上智大学大学院 博士前期課程修了・聖路加国際病院・社会福祉士/精神保健福祉士)
報告者3 福田 真清 (ルーテル学院大学大学院 博士後期課程在籍・(福)武蔵野会
世田谷区立烏山福祉作業所・社会福祉士/精神保健福祉士)

【コーディネーター】 浅野貴博 (ルーテル学院大学)

15:30

閉会

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 関東甲信越ブロック
運営委員長：船水 浩行
事務局：東海大学健康科学部
〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143
Tel 0463-93-1121(代表)